

令和3年度 土橋自然観察教育林連絡協議会

<会 議 次 第>

1 開 会

2 議 題

- (1) 報告第1号 令和3年度土橋自然観察教育林関連事業実績（見込）について
- (2) 議案第1号 令和4年度土橋自然観察教育林関連事業計画案について

3 閉 会

と き 令和3年12月16日（木）19時30分～
と ころ 厚沢部町図書館（視聴覚室）

厚沢部町教育委員会

土橋自然観察教育林連絡協議会名簿

役 職	氏 名	備 考
会 長	須 賀 貞 樹	
副 会 長	鈴 木 晃 子	
副 会 長	高 橋 のりえ	

【町関係機関】

役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
政策推進課長	朝 倉 秀 美	農林課長	沼 下 利 広
商工観光係長	小 西 智 晴	林業振興係長	藤 八 伸太郎
商工観光係	首 藤 浩 平	林業振興係	上 條 公 大

【事務局】教育委員会

役 職 名	氏 名
事務局長	笹 森 浩 明
主 幹	安 田 光
社会教育係長	板 坂 勇
社会教育係	富 塚 龍
社会教育係	増 田 廉

報告第1号 令和3年度土橋自然観察教育林関連事業実績（見込）について

土橋自然観察教育林

主管係	社会教育係	記入者		富 塚 龍
事務事業名	土橋自然観察教育林管理事業	中期計画上の位置づけ		土橋自然観察教育林の活用
10 款 5 項 5 目	教育林管理費	事業費	R2 実績	3, 4 2 4 千円
			R3 予算	4, 7 3 5 千円
			R3 見込	3, 0 0 6 千円
事業の目的 (求める成果)	(1) 土橋自然観察教育林の自然環境を保護し、その価値を維持する (2) 土橋自然観察教育林の活用に必要な遊歩道等の施設を管理し、利用者の安全を確保する (3) 土橋自然観察教育林の活用に必要な情報収集及び広報、学習機会を提供する			
事業対象と手段 (誰に何を)	①教育林巡回監視事業 208,992 円 期日：4月～11月 内容：巡回監視により、遊歩道破損状況及び危険箇所、看板等設置物破損状況、危険動物痕跡等の確認を行う。 ②土橋自然観察教育林管理事業 2,761,000 円 ア 歩道修繕（木橋修繕） 1,529,000 円 工期：令和3年7月28日～9月9日 （日本森林林業振興会助成金 700,000 円 全国森林レクリエーション協会助成金 100,000 円 ） イ 歩道及び見本林草刈業務 1,012,000 円 工期：令和3年6月12日～10月29日 （1回目：6月12日・29日、2回目：8月9日、3回目10月12日・29日） 歩道3回（延べ延長14,558m）、見本林2回（延べ面積3.36ha） 作業前に一部の草花を保護するためのマーキングを行った （アボノワ、ツバメト、シロネ、クルマコ、ツアゲ、材木ダゲ等） ウ 倒木処理業務 220,000 円 工期：令和3年 4月 9日 15箇所 令和3年10月12日 10箇所 ③教育林講座開催事業 20,459 円 ア 林内散策会（遠足） 期日：令和3年5月14日（金） 講師：社会教育係 内容：解説を交えた林内散策、ネイチャービンゴ 厚沢部小学校3～6年生（75名） イ レク森を楽しもう（木育イベント） 講師：社会教育係、檜山振興局森林室 期日：令和3年10月30日（土） 内容：檜山振興局森林室の協力のもと林内散策の解説や体験学習を実施 （森林室職員による紙芝居や水質浄化実験、木工クラフトなどのほか 縄文式火起こし体験、モルック、缶バッジづくり体験を実施） 参加25名（うち小中学生以下14名） ウ 森に住む生き物について 期日：令和3年6月23日（水） 講師：社会教育係 内容：総合的な学習の時間での解説 （レクの森の生き物について（エゾシカやヒグマの痕跡等）） 厚沢部小学校3年生（16名）			

	④土橋自然観察教育林連絡協議会運営 ア 現地確認 期日：令和4年3月頃 場所：教育林 内容：林内を巡回し、林内の状況を確認する。 イ 会議 1回目 期日：令和3年5月27日（木） 場所：図書館視聴覚室 内容：令和2年度土橋自然観察教育林関連事業実績 令和3年度土橋自然観察教育林関連事業計画案 等 2回目 期日：令和3年12月16日（木） 場所：図書館視聴覚室 内容：令和3年度土橋自然観察教育林関連事業実績（見込） 令和4年度土橋自然観察教育林関連事業計画案 等 ⑤希少植物状況確認調査 15,000円 1回目 期日：令和3年6月2日（水） 内容：開花調査 6調査地点 2回目 期日：令和3年7月7日（水） 内容：開花調査 15調査地点 ⑥レク森座談会 期日 令和3年12月16日（木） 場所：図書館視聴覚室 内容 町民対象の説明会及び意見交換会 共催：土橋自然観察教育林連絡協議会
--	--

自己点検と評価解釈

自己評価項目	評価	評価の解釈・改善や見直しの方法
妥当性 (行政が実施すべきか・手段は?)	A	厚沢部町の特徴的な自然を有する教育林の管理業務や情報発信については、引き続き行政が実施すべきである。
成果 (意図した成果があがったか)	A	檜山振興局森林室の協力を得ながら事業を実施。土橋自然観察教育林の活用と木育の学習が十分図られた。
効率性 (コスト削減の余地があるか)	A	木橋改修工事等の維持管理費が主であり、コスト削減の余地はない。(日本森林林業振興会助成金等を活用) 木育イベントについては、檜山振興局森林室の協力を得ることで、人員、道具等の提供を受けることができた。また、今年度も団体の助成金を活用しており、町費の削減を図りながら効率よく開催している。
総合評価	A	今後も町の財産として土橋自然観察教育林を保存、整備、活用していくことが必要であり、継続すべきである。

評価 A：良好（現状のまま継続） B：普通（改善の上継続） C：不良（廃止又は大幅な見直し）

議案第1号 令和4年度土橋自然観察教育林関連事業計画案について

土橋自然観察教育林

主管係	社会教育係	記入者		富 塚 龍
事務事業名	土橋自然観察教育林管理事業	中期計画上の位置づけ		土橋自然観察教育林の活用
10 款 5 項 5 目	教育林管理費	事業費	R1 実績	1, 3 9 5 千円
			R2 実績	3, 4 2 4 千円
			R3 見込	3, 0 0 6 千円
事業の目的 (求める成果)	(1) 土橋自然観察教育林の自然環境を保護し、その価値を維持する (2) 土橋自然観察教育林の活用に必要な遊歩道等の施設を管理し、利用者の安全を確保する (3) 土橋自然観察教育林の活用に必要な情報収集及び広報、学習機会を提供する			
事業対象と手段 (誰に何を)	①教育林巡回監視事業 期日：4月～11月 内容：巡回監視により、遊歩道破損状況及び危険箇所、看板等設置物破損状況、危険動物痕跡等の確認を行う。			
	②土橋自然観察教育林管理事業 ア 歩道修繕（木橋修繕） 工期：8月以降 イ 歩道及び見本林草刈業務 工期：5月中旬～10月下旬 歩道2回（延べ延長9,705m）、見本林2回（延べ面積3.36ha）を予定 ウ 倒木処理業務 工期：4月頃及び随時 ③教育林講座開催事業 ア 林内散策会 期日：5月頃 講師：社会教育係 内容：解説を交えた林内の散策 イ 木育イベント 期日：10月頃 協力：檜山振興局森林室 内容：林内の解説や体験学習の実施 ウ 学校授業等での解説 随時 ④土橋自然観察教育林連絡協議会運営 ア 現地確認 期日：3月頃 場所：教育林 内容：林内を巡回し、林内の状況を確認する。 イ 会議 期日：5、12月頃（2回） 場所：図書館視聴覚室 内容：教育林の保護と活用に関わる事業計画等の協議 ⑤希少植物状況確認調査 期日：5月～6月 内容：林内植物の生育状況について継続的な調査記録を行う。			